２０１８年７月１日発行
社会福祉法人暁会
山口県下関市大字小野 64 番地の１

2018
夏号
No.75

あかつきだより

お田植え祭

2018. 06. 12

入所者様に自然に触れる機会を持っていただこうと2010年から始まった「お田植え祭」。前日に大雨が降り開催が危ぶまれましたが、当日は朝から快晴とお天気にも恵まれ心地よい風が吹く中、入所者様・利用者様・職員の総勢約50人が参加し田植えや野菜の収穫を体験しました。

田植えを初めて体験する職員や子供たちは、長靴を持参し緊張の面持ちでしたが、いざスタートすると裸足で元気よく水田に素足で入り〝ひのひかり〟の苗と泥の感触に大はしゃぎ、中には尻もちをついて泥だらけになった子ども達も見られ和やかな雰囲気に包まれながら、みんなで力を合わせ短時間で植えることが出来ました。

田植えを終えると、長靴を履いた時の顔は朝とは全然違って元気一杯でした。さぞかし気持ちが良かったのでしょう。また、玉ねぎの収穫も同時に行われ、普段食べている野菜を初めて自分で収穫した子ども達もおり、どうやって採るのか不安な様子でしたが、職員から茎の部分がくびれて倒れていたら収穫のサインだと聞き、土の中から玉ねぎが出てくると喜んで収穫していました。あっという間に袋が一杯になり、両手で一生懸命持って「良いお土産が出来た」と言わんばかりに喜んでいました。

みんなケガもなく無事にお田植え祭は終了し、日頃施設内でお過ごしの入居者様・子ども達も自然の中で楽しく過ごされ笑顔の絶えない時間となりました。お帰りの際には、早くも秋の収穫を楽しみにしている子ども達もおり、職員にとっても心が満たされた一日でした。

職場体験　ケアハウスあかつき

２０１８．０５．２４～２５

5月24・25日に、キャリア教育の一環として、下関市立向洋中学校より、2年生の女子生徒2名が職場体験に来設しました。初日の午前中はグループホームを見学し、牛乳パックで作った積木で利用者様とゲームをしました。はじめは少し戸惑いもあったようですが、すぐに打ち解けて会話も弾み、利用者様がレース編みをするのを見てとても喜んでいました。ケアハウスでは、昼食の準備を手伝ってもらい、午後からは利用者様と一緒にリハビリ体操をしました。その後茶話会をして利用者様と交流を図ってもらいました。日頃はあまり茶話会に出席しない利用者様も顔をのぞかせ、中学生と楽しそうに会話をしていました。また利用者様が自分の作った塗り絵をプレゼントする場面もあり、孫のようなかわいい来客にみなさんとても喜んでいました。2日目は、デイサービスで利用者様と一緒にいろいろなリハビリ体操を体験してもらいました。以下2人の感想です。

「将来介護関係の職に就きたいと思いケアハウスを選びました。高齢者の方とたくさん交流が出来てうれしかったです。もし違う職に就いたとしても、ここで学んだことを生かしたいと思います。」

「高齢者の方との交流は私にとって貴重な経験でした。ここで学んだことを生かしていきたいです。コミュニケーションをとるうちにどんどんお年寄りの方が好きになりました。だから大切にしていきたいと思います。」

大変有意義な職場体験となったようです。

運動会

生活介護事業所フェニックス

２０１８．０５．１４～１８

5月14日・16日・18日と3日間、生活介護にて運動会を開催しました。ホールには万国旗を飾り、運動会のＢＧＭを流し、紅白のはちまきで赤・白組に分かれて競いました。

まずは毎年恒例となっている、体操服を着用した利用者様による準備体操。照れながらも、しっかりと体を動かし、お手本となって頂きました。その後、赤・白組の代表による選手宣誓を声高らかにされて競技を開始しました。

3日間に分けて行った競技は、大玉転がし・玉入れ・借り物競走・障害物競走・パン食い競走・紅白対抗リレーで、日毎に行う種目を変えました。その中でも大玉転がしでは、利用者様・職員共に必死になり、あっという間にたどり着いたかと思えば、思うようにゴールへたどり着かなかったりと盛り上がった競技でした。障害物競走では普段行っているレクリエーションを競技として取り入れたので、利用者様は日頃のレクリエーションの成果を十分に発揮し活躍されていました。

最終日に行った紅白対抗リレーでは歓声が飛び交い大変盛り上がりました。結果は赤組の優勝となりましたが、白組も大いに健闘しておりました。

又、今回の運動会ではサプライズゲストとして、本年度より開設された『託児ルームあいあい』から園児が参加され、可愛らしい姿に大変癒されました。

応援あり・笑いあり、歓声ありと、利用者様・職員が一つになり開催出来た素晴らしい運動会となりました。来年の開催も今から楽しみです。

保護者会総会

障害者支援施設フェニックス
２０１８．０４．２１

４月21日土曜日に平成30年度保護者会総会を行いました。今回は、16家族、20名のご家族が参加されました。中山保護者会会長の挨拶の後、平成29年度の事業報告及び決算報告、平成30年度の事業計画及び予算案について報告を行い、承認をいただきました。

その後、昨年度、諸事情で実施することが出来なかった秋季一泊旅行の実施等の議題についてご家族と話し合いを行いました。ご家族からは「旅行をとても楽しみにしている気持ちを大切にして欲しい」「旅行に参加することが難しい利用者様への企画も考えて欲しい」など様々なご意見を聞くことができました。中でも多かったのが施設入所すると外出の機会が少なく、旅行を楽しみにしている利用者様のためにぜひ実施してほしいと言うご意見でした。今年度は、秋季一泊旅行実施に向けて計画を立て準備を行い、旅行先ではたくさんの利用者様が笑顔で楽しんでいただけるようにしたいと思います。

総会終了後は、新館３階に移動して懇親会を開きました。久しぶりに顔をあわされた方も多く、利用者様、ご家族共にとてもうれしそうに一緒に過ごされていました。また、普段はなかなか交流する機会のないご家族どうしですが、会話も弾み、しっかり交流されてとても有意義な時間を過ごされたことと思います。懇親会では当施設栄養課に依頼をし、味はもちろん、見た目も楽しんでいただけるようにフルーツの飾り切りの盛り合わせ、ケーキ、飲み物を提供し、とても好評でした。

今後もご家族としっかりと連携しながら、利用者様の支援をしていきたいと思います。

6月11日（金）宝の家にてヤクルトの管理栄養士による「ウン知育教室」が行われました。腸の働きや排便に関することは、ご利用者の皆さんとても関心があり講師の方の話を熱心に聞かれていました。

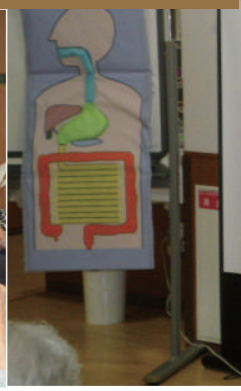
バランスの摂れた食生活や腸内環境を整えることはとても大切です。実際に腸や便の模型を手で触り、とても驚いていました。腸トレ体操では、腸の回りの筋肉を鍛える体操をご利用者の皆さんと一緒に行いました。

教室が終わった後、皆さんで美味しいお菓子を召し上がられました。母の日も兼ねて女性の利用者様には手作りのカーネーションもお渡ししました。皆さんに大変喜んでいただくことができ、とても賑やかな「ウン知育教室」となりました。

今後もご利用者に喜ばれる行事を考えていきたいと思います。

ヤクルト出前授業
ウン知育教室

宝の家
2018．06．11



秋根上町
徘徊者捜索声掛け模擬訓練

勝山・内日地域包括支援センター
2018．06．16

梅雨の時期でもあり天候が心配でしたが、6月16日（土）、無事に秋根上町で徘徊者捜索声掛け模擬訓練を実施することができました。

本部となる町民館にて簡単な講義と寸劇で認知症の方への声掛けのポイントを学び、その後は実際に地域に出て声掛けの訓練です。皆さん、最初は緊張の面持ちで声掛けの第一声が難しそうでしたが、慣れてきたら言葉もスムーズに出てきて、最後には笑顔で日常会話を交えながら、声掛けする姿が見受けられました。

この度の訓練で「認知症の人の接し方を学べて良かった」との声も聞かれ、認知症の方への理解が深まった方もおられました。

また、反省会では「次回は自分が徘徊者の役をします」と次回の訓練に意欲的な発言も聞かれ、笑いを誘いました。

ご協力いただいた皆様、暑い中本当にお疲れさまでした。